

世田谷区立教育総合センター開設に伴う  
施設見学会及び意見交換会 次第

日時：令和4年3月26日（土）10時30分

会場：世田谷区立教育総合センター研修室2・3

- 1 開会
- 2 区長挨拶
- 3 教育総合センターの施設見学
- 4 教育長挨拶
- 5 事業・機能概要説明
- 6 区内大学・高校・特別支援学校との連携に関する意見交換
7. 閉会

# 教育総合センターと 区内高校・大学・特別支援学校 との連携の方向性について

令和4年3月26日

世田谷区教育委員会事務局

# ➤ 教育総合センターとは？

(主な機能)

## ① 学校支援・教員等支援の強化

例) 教育課題に関する研究や教員研修の実施 等

## ② 子ども支援・教育相談・個別支援の強化

例) 専門チームによる学校支援 等

## ③ 乳幼児期の教育・保育の支援の強化・拡充

例) 幼稚園・保育所等の教諭・保育士の人材育成 等

## ④ 地域・社会との連携の強化

例) 大学・企業等との連携事業の展開 等

# 教育総合センターにおける大学・企業等の社会的資源との連携イメージ

世田谷の教育を推進する拠点

教育委員会

区長部局

教育・保育現場

中学校

小学校

幼稚園

認定こども園

保育所等

教育総合センター

連携・協働

乳幼児教育・保育支援課

政策研究・調査課

教育研究・研修課

研修担当課

教育相談・支援課

せたがや自治政策研究所

連携

①  
相談・連携  
要請受付

④  
連絡先(大学  
等)紹介

④  
先進事例紹介  
情報提供

②  
連携要請

③  
連携協力

政策経営部

経済産業部

生活文化政策部

子ども・若者部

など

地域の社会的資源

企業・商店街

高校・大学・  
特別支援学校  
・研究機関

地域人材等 など

学びの下支え

# 教育総合センターと区内の高校・ 大学が連携することの意義

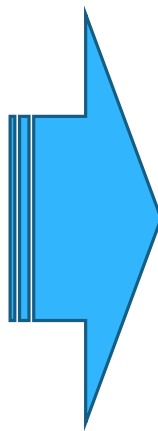
- ◎多角的な視点や高度な知見を活用した、学校現場を支援する体制の構築
- ◎乳幼児期から大学にかけての教育や研究活動のレベルアップ
- ◎上記2点を通じて、子どもたち一人ひとりの個性に応じた能力の開発に繋げる

# 連携・共同事例①

## 防災・安全教育

(現状)

- 小・中学校で「防災教室」を実施。
- 「防災・救急救助総合研究所」による地域連携活動  
(国士舘大学との連携)
- 地区防災訓練等への参加協力(日本大学文理学部・危機管理学部・スポーツ科学部等)



(今後の展開例)

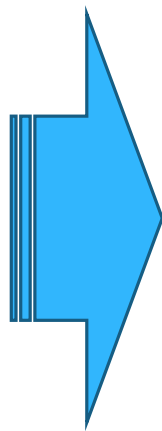
- 実習やフィールドワーク時の安全確保や助言などの人的支援。
- 救急救命訓練における、器具の支援や指導者の派遣。

# 連携・共同事例②

## 環境教育の推進

(現状)

- SDGs研究協力校の取り組み(R2~R3年度)。
- 生徒会サミットにおいてSDGsをテーマに発表と意見交換を実施。
- 環境エネラボへの協力  
(東京都市大学・昭和女子大学・産業能率大学等)



(今後の展開例)

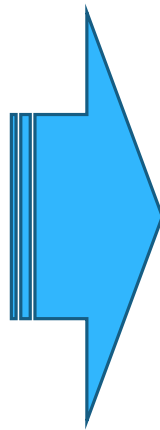
- 課題解決型授業の実践。
- 環境問題をテーマとした児童・生徒を対象としたワークショップの実施。
- 「環境教育」に取り組むにあたっての教職員の支援。

# 連携・共同事例③

## スポーツ教育の推進

(現状)

- 体育指導力向上研究校の取組みの推進による体育授業の充実(日本体育大学)。
- 各学校における体力向上の取組みの支援



(今後の展開例)

- 運動意欲向上、体力向上のための事業提案とその展開に関する連携・協力。
- 体育授業の運動指導補助として、学生による支援。

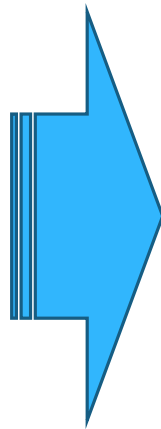


# 連携・共同事例④

## 乳幼児期における文化・芸術体験

(現状)

- 幼児を対象とした文化・芸術体験事業(昭和女子大学)。
- 粘土遊びを通じた幼児の発達段階の検証(東京都市大学)。



(今後の展開例)

- 左記2事業を乳幼児教育支援センターで継続実施。
- 「アトリエ」を活用した乳幼児対象としたワークショップや子どもたちとの交流活動・連携事業を実施。



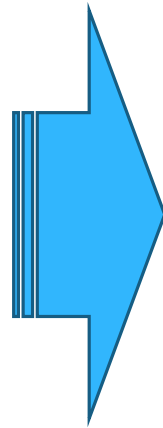
(アトリエ活動の例)

# 連携・共同事例⑤

## 幼児期の運動遊びや体力づくり

(現状)

- 幼児の運動遊びを広げる取組みを実施(日本体育大学)。
  - 運動の基礎技能を取り入れた子どもたちの運動遊びを実施(日本女子体育大学)
- ※本日のメッセでも実践中。



(今後の展開例)

- 「運動遊び」や体育・体力づくりなどの取組み・研究。
- 教育総合センターの屋外広場を活用した「外遊び」事業の推進に向けた意見交換や共同研究。



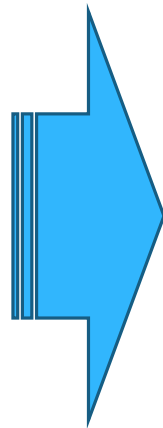
(運動遊びの例)

# 連携・共同事例⑥

## 不登校対策

### (現状)

- 不登校特例校分教室を4月から開設・運営する予定。
- スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の実習生の受入れ(日本大学文理学部)
- 区内3か所でほっとスクールを運営。



### (今後の展開例)

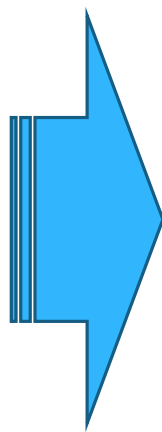
- 学校生活サポーター、ほっとスクール派遣メンタルフレンド等の人的支援
- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー志望の実習生の受入れの拡大と人材育成・確保に向けた取り組み。

# 連携・共同事例⑦

## 特別支援教育

### (現状)

- 教職員研修等により教職員の専門性を向上。
- 特別支援学級支援員、学校生活サポーター等による支援を実施。
- 特別支援学級において、一人一台のタブレット型情報端末を活用し、個に応じた支援を実施。



### (今後の展開例)

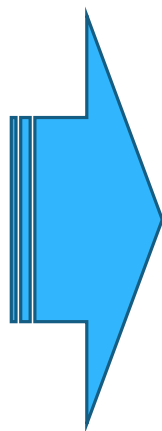
- 特別支援学校とのノウハウ等の共有や特別支援教育に関する助言、研修の実施。
- 学校生活サポーター等の人的支援への協力。
- 効果的なアプリ・ソフトや教材・教具の情報共有、共同研究。

# 連携・共同事例⑧

## データ分析

### (現状)

- 学習ログと学校生活のデータを連携させて児童・生徒の状況等を把握するダッシュボード機能の導入を検討中。
- 教員の働き方改革の推進のため、教員業務のと改善効果の定量的な把握を検討中。



### (今後の展開例)

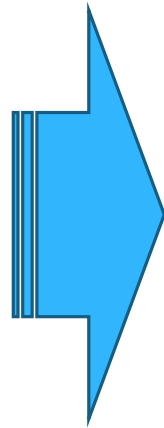
- 教育の特性を踏まえたEBPMの手法についての研究。
- 教育データの利活用による個別最適化された学びの実現に向けた支援。
- 教育DX等の働き方改革による改善効果の定量的な把握に関する支援。

# 連携・共同事例⑨

## 国際交流・アントレプレナーシップ等

(現状)

- 日本でできる小中学生の国内留学プログラムの実施(テンプル大学)。
- 現代応用経済学科ラボラトリによる起業家育成に向けた事業の展開(駒澤大学)



(今後の展開例)

- 留学生の派遣による国際教育・交流の推進
- キャリア教育の一環として、アントレプレナーシップ教育等の実施に向けた連携。

# 結びに

## ～今後の連携の方向性～

### ◎交流・連携体制の構築

教育総合センターが拠点となって、学校からのニーズを集約し、高校・大学・特別支援学校からの連携提案と繋ぎ合わせていく。

### ◎交流・連携方法の模索

